



社会福祉法人 恩賜財団

霜月 11月号

愛知県同胞援護会だより

第316号

平成26年11月1日発行



「紅葉」

味美デイサービスセンター

園田 政美 様 (利用者ちぎり絵作品)

目次

春日井・豊田・大府グループ……………P.2	第2とよた苑・保見の里……………P.8
春緑苑……………P.3	サンホーム豊田……………P.9
第2春緑苑……………P.4	大府の郷……………P.9
春日苑・ワーカー鷹来・さくら保育園……………P.5	支えていただいた方々……………P.10
とよた苑……………P.6	春日井・豊田・大府グループ……………P.11～12
若草苑……………P.7	

法人事務局

〒487-0031 愛知県春日井市廻間町703-1 TEL:0568-88-8302 FAX:0568-88-0306

HPアドレス:www.douen.or.jp

E-mailアドレス:info@douen.or.jp

内定者事前説明会

10月4日(土)、「特別養護老人ホーム春緑苑」5階会議室にて内定者事前説明会を開催しました。

先輩職員、内定者のみなさんとの交流により、社会人になることへの不安・疑問を少しでも払しょくしていただくこと、各施設から先輩職員も参加し、交流を深めました。

会が進むにつれ、みなさんの緊張もほぐれ、仲間意識も高まり、有意義な一日となりました。



▶伊藤相談員の話で、内定者のみなさんは真剣な表情で聞いていました

▶グループワークでは、みなさん協力して取り組まれました



行程	内容
挨拶	澤木事務局長「開会にあたり挨拶」
先輩職員体験談	春緑苑サービスセンター 生活相談員 伊藤滉平「入職するまで、入職後について」
内定者自己紹介	自己PR
グループワーク	先輩職員との交流、自分自身の目標等について
入職までの流れ	懇親会、事前研修等について
食事会	先輩職員、内定者のみなさんとの交流
挨拶	田中事務局次長「閉会にあたり挨拶」

運動会

春日井・豊田・大府グループ各施設で運動会が行われました。紅白に分かれ、白熱した運動会となり、必死になって頑張っている利用者さんの姿がとても印象的でした。

春日苑



▲みなさん狙うのは“かご”ですよ(笑)

春緑苑



▲みなさん必死です！

とよた苑



▲白組頑張れ！応援に熱が入ります！！

さくら保育園



▲組み立て体操 かつこ良く決まっています

第2春緑苑



▲赤組優勝 おめでとうございます！

大府の郷



▲表彰式！おめでとうございます！！

サンホーム豊田



▲笑顔溢れる運動会でした！

保見の里



▲赤組頑張れ！

第2とよた苑



▲みなさん、とても楽しそうです

春緑苑

秋の彼岸法要



9月23日(火)、春緑苑交流館において、「秋の彼岸法要」を行いました。

42名のご遺族と、41名の来賓の出席をいただき、556名の物故者のご冥福をお祈りしました。

法要終了後、会食をしながら、久しぶりにお会いするご遺族と故人の思い出話に花が咲きました。

たくさんの方々とのご縁と、ご支援をいただいている事を改めて実感することができた一日となりました。

デイサービス

フラダンス教室

デイサービスで開催しているフラダンス教室をご紹介します。

フラダンスといっても、高齢者の方でも簡単に行える、座って踊るフラダンス「座フラ」と



▲手の動きを真似してくださいね



▲こんな感じかしら!?

呼ばれるものです。童謡や歌謡曲に合わせて、姿勢を正して手の動きで表現します。姿勢を正すことで血流も良くなり、体もポカポカと温まってきます。初めは動きを覚えることが難しいと固くなってしまいう利用者

福祉用具貸与事業所

補高便座のご紹介



トイレが低くて立ち上がりが大変だったりする経験はありませんか。そんな時に便利なのが補高便座です。

便座と便器の間に補高便座を挟むことで、便座が高くなり、立ち上がりを楽にすることができ商品です。ウオッシュレット付タイプもあり、様々なタイプの便座で対応可能です。是非一度、お試しください。

さんもおられました。音楽に合わせて体を動かすうちに自然と柔らかい、穏やかな表情になっていきます。みなさん踊る楽しさと達成感で、笑顔で帰っていかれました。

地域包括支援センター

介護予防教室の予定

専門医に聞こう、認知症あれこれ！
～疑問・質問に答えます～

【日時】 11月18日(火) 14時～15時30分

【講師】 高蔵寺駅前クリニック院長

垣内泰久先生

【会場】 東部市民センター料理教室

【定員】 25名(定員になり次第、申込み締め切りになります)

【参加費】 無料

【持物】 筆記用具

【申し込み先】

電話 (0568) 88-5829

FAX (0568) 88-5704

メール chiikihokatsu@douen.or.jp

担当 水野、尾崎、白木、太田、寺井、高田

ケアハウス春緑苑

脳の活性化

Part 2

10月4日(土)、ケアハウス食堂でオセロ大会を開催しました



▶オセロ楽しいわ

た。

和気あいあいとした雰囲気の中、周囲の方々も自分のことのように応援し、楽しい時間を過ごしておられました。

活動を通して脳を活性化し、いつまでも利用者さんが若々しくいられるようサポートしていきます。

11月の行事予定

- 11月3日(月) 月次祭
- 11月21日(金) 月例祭
- 11月28日(金) 誕生会

新任職員紹介

(10月1日付)

●特養



調理員 寺澤 智也

第2春緑苑

プリザーブドフラワーづくり

9月29日(月)、利用者さんと一緒に「プリザーブドフラワー」を作りました。

プリザーブドフラワーとは、新鮮な生花を脱水作用がある脱色液と潤滑液入り着色液につけ、乾燥させたものを、ボンドを使って生け花のように貼りつけていく製法です。みなさん初めての試みとあって、制作中は



私たちが運動会を楽しんでいます！

応援

9月13日(土)、春日井高等学校特別支援学校に招待され、運動会を見に行ってきました。

この日は、天候に恵まれ、絶好の運動会日和。生徒さんが全力で走る姿や、競技に参加している姿を見て、「がんばれ、がんばれ」と熱い声援をおこっていました。

利用者さん、昔を思い出されて、懐かしそうなお顔でした。



▶すてきな歌声でした

真剣そのもので、集中して作成しておられました。

完成した作品は、どれもすばらしい作品ばかりで、利用者さんは「いい体験ができた。」ととても喜んでおられました。



▲どんな感じに仕上がるかしら？

デイサービス

楽しかった歌謡ショー

10月3日(金)、ボランティアグループ「ハピネスの会」の皆様に来ていただきました。

「小さい秋」など14曲をみなさんで一緒に歌い、「かかし」という曲に合わせて、一緒に体操を行いました。利用者さんにとって、懐かしい曲もたくさんありました。

地域包括支援センター

風邪予防

これからの季節は寒くなるだけでなく、空気も乾燥してきますので、体調を崩す方が多くおられます。特に風邪は万病の元と言われるほど、たかが風邪と甘く考えないようにしたいものです。

風邪を予防するポイントは、外出先から帰宅した際の「手洗い」「うがい」、そして、「水分補給」も重要な予防策となります。その他には、「栄養」「睡眠」をしっかりとり、「リラックスマ」をした生活をおくること。体を冷やさないよう「保温」に気を配ること。併せて、部屋では加湿することを心掛け、外出するときはマスクをして喉を「保湿」し、ウィルスや細菌の侵入を防ぐようにしましょう。

さんあり、楽しい時間を過ごしておられました。笑顔が溢れるすてきな歌謡ショーとなりました。

私のスタート

介護士としての私のスタートはショートステイから始まりました。

帰宅願望の強い利用者さんや入浴を好まない利用者さんなど、いろいろな利用者さんがおられ、最初は難しく感じる面も多々ありましたが、仕事に慣れてくると、「また、会いに来るよ。」と言って下さったり、笑顔で微笑んでくれたりする姿がともうれしく感じました。

10月からは特養での勤務となり、毎日が新しい発見と学びの連続です。一人ひとりの利用者さんのことを深く知り、きめ細かいケアを目指してこれからも頑張っていきたいと思います。

11月の行事予定

- 11月1日(土) 文化祭
- 11月6日(木) カラオケクラブ
- 11月11日(水) 紙工作
- 11月13日(金) リズム体操
- 11月17日(月) 書道教室
- 11月18日(火) 月例祭
- 11月20日(木) アコーデオン
- 11月27日(木) 誕生会

新任職員紹介

10月1日付



看護職員 田島しのぶ

味美国際交流

味美デイサービス



▲囲碁もなかなかの腕前で、味美デイサービスでは、民謡、カラオケ、楽器演奏など様々な

なボランティアさんに来ていただいています。今月は奉仕活動の一環としてアメリカとオーストラリアからお越しになられていらっしゃる方がボランティアとして来ていただきました。

ボランティアさんが、日本の言葉、囲碁や将棋といった日本の文化にも知識が深かったため、利用者さんはすぐに打ち解けられ、楽しく一日を過ごしておられました。笑顔が絶えない国際交流となりました。



▲ありがとうございました

春日苑

9月1日(月)
ひるがの高原牧歌の里



▲おいしい人参をどうぞ

バスハイク

澄みきった青空が秋を感じさせる9月にバスハイクを行いました。

岐阜県奥美濃の標高1000mにある花と緑のテーマパーク「ひるがの高原牧歌の里」と四季折々の花が織り成す憩いのガーデン「浜松フラワーパーク」に行ってきました。

牧歌の里では、動物たち

9月29日(月)
浜松フラワーパーク



▲雲一つない晴天でした



▲旅の良き思い出です



▲とってもきれいでしょ(笑)



▲家族との食事、最高！

障がい者生活支援センターだより

視覚障がい者を取り巻く現状

9月上旬、特別支援学校に通う全盲の女子高校生が通学中に足を蹴られて怪我をするという事件が起きました。また、7月には、全盲の男性が連れていた盲導犬が何者かに刺されて怪我をするという事件も起きています。

視覚障がいを持つている方にとっては、警察に被害を訴えることは難しいことです。また、7月に起きた盲導犬が刺される事件については、刺された際に盲導犬が吠えなかったため、何があっても鳴かないように訓練しているのではないかと、盲導犬の存在自体が動物虐待ではないのかと誤った観点で語られたこともありました。

このような事件が起きるのは、障がいのある方に対しての知識や理解不足などがあるからだと考えられます。また、障がいのある方が、何を考えて何を思っているのか、その思いを大切にしていける必要があるのではないのでしょうか。

【お問い合わせ】

春日苑障がい者生活支援センター
TEL(0568) 8817637
FAX(0568) 8815802
Eメール:kasugastien@doun.or.jp
担当 中村・加藤まで

11月の行事予定

11月12日(水) レクの日
11月17日(月) バスハイク(大須)

ワーカー鷹来

水消火器訓練

9月18日(木)、水消火器の初期消火訓練を行い、火に見立てた的を放水しました。



毎年経験されている利用者さんは慣れた手順で

さくら保育園

お散歩だーいすき

秋の訪れと共に、散歩に出かけることが多くなり、友だちと手をつないで公園まで出かけました。

公園に到着し、「遊んでいいよ。」と声をかけると、すべり台やブランコを目指して一斉に走り出しました。中には、虫探しを楽しんでいた園児たちもあり、「バッタ捕まえたよ。」と、うれしそうに見せてくれました。



▶ほら、見て見て！

つきでたくましく放水し、初めて行う利用者さんは、「どうやってやるの?」「難しいね。」などと不安ながらも、職員と一緒にしっかりと初期消火を行うことができました。

「火災が起きたら消火器で火を消す」ということを学び、対処法などしっかりと把握することができた有意義な訓練となりました。

すてきな万国旗!?

2歳児の子どもたちが運動会に向けて、オリジナル作品を作りましました。

まずは染め紙で洋服作り。折った習字紙の角を絵の具につけ、そーっと広げると、きれいな模様のTシャツのできあがり。子どもたちは「わーきれい。」と目を丸くして驚いていました。

次は顔作りです。保育士が園児一人ひとりの特徴をとらえ、顔の形を作り、子どもたちが目をつけて完成です。どの顔も不思議なくらい本人そっくりに仕上がりました。

運動会当日は、子どもたちが作ったすてきな作品と万国旗が秋風に揺れていました。



▲集中して作っています

とよた苑

みんなでおいかけ



▲お花の前で記念撮影！、ハイタッチス!!

られ、職員もうれしい気持ちになりました。これからも利用者さんに喜んでいただける外出計画をたてていきます。

地域包括支援センター

認知症について

10月11日(土)、アルツハイマーデーにちなんだ講演会が開催されました。

第1部 「認知症とその対応方法について」
講師：トヨタ記念病院 安田先生

第2部 「今からできる！認知症予防のための運動」
講師：国立長寿医療センター 牧迫先生

第3部 「かかえこまない介護」
劇団包括(とよた苑地域包括支援センター)による寸劇

利用者さんと一緒に1回目の外出で西山公園に行ってきました。バラやコスモスを見に行き、心地よい風を感じ、花の香りにつつまれながら散歩を楽しみました。

認知症について、非常に参考になる講演会でした。とよた苑地域包括支援センターとしても、大切な家族が認知症になったときにどうすればよいかというところを、寸劇を通じてアピールできた絶好の機会となりました。



利用者さんは、「外出できて良かった。」とたいへん喜んでお

「おいしいよ！」



デイサービス

ろうそくを灯して

利用者さんと一緒に、おぼけかぼちゃを使って「ハロウィンかぼちゃ」を作りました。利用者さんにかぼちゃの種をとっていたとき、職員が目や口のパーツをくりぬき、かわいなおぼけの顔が完成しました。



電気を消して、ハロウィンかぼちゃにろうそくを灯すと、拍手に包まれました。

大運動会

10月7日(火)から13日(月)までの1週間、運動会を開催し、紅白に分かれ、お手玉送りや玉入れなどの競技を行いました。

今月のピカイチ



▲大きく口を開けて…

ケアハウス豊田

ナイト喫茶

9月25日(木)、ナイト喫茶を行いました。



利用者さんたちは、メニューを見て、好きな食べ物と飲み物を注文。今年はいつものメニューに加え、「きんかんジュース」を追加。たいへん好評です。すぐに完売となってしまいました。

中にはビールや梅酒などお酒を飲まれる利用者さんもおられ、いい気分になって、歌う方や踊る方など秋の夜長を存分に楽しんでおられました。



▲みなさん頑張ってください

利用者さんの競技に取り組み姿は真剣そのもの。職員対決も応援に力が入り、大いに盛り上がりました。毎年恒例のパン食い競走では、口を大きく開けて必死にパンを探ろうとする利用者さんの姿がとても印象的で、笑顔溢れる一日となりました。



▲みなさん、会話も弾み、大盛り上がり!

生け花クラブ! いけばな展に出展!!

豊田産業文化センターで「平松陽風社中45周年記念いけばな展」が開催され、生け花クラブ4名の利用者さんの作品が展示されました。

展示作品の前で平松先生と記念撮影を行い、その後は、他の作品を見て回りました。利用者さんは、来年もまた出展できるように意気込んでおられました。



▲すてきな作品ばかりでした。

養護若草苑

ワンちゃん訪問

9月24日(水)、「豊田市動物愛護ボランティア」の方が犬を6匹連れて来苑されました。

利用者さんは小型犬を膝の上のせ、名前を呼んだり、頭を撫でたりし、普段見せたことのないような表情で犬たちと接していました。

大型犬もとてもおとなしく、「おすわり」「待て」という飼い

梅坪台中学校福祉交流



床みがきを一生懸命してくれました



きれいな歌声が苑内に響き渡りました

9月24日(水)の午後、梅坪台中学校3年生36名の生徒さんが福祉交流のため来苑されました。

利用者さんと会話しながら清掃活動を一緒に、清掃終了後は、合唱の披露がありました。思い出に残る福祉交流となりました。

膝の上に座ってワンちゃんも気持ち良さそう



主の言葉に、ちゃんと言つことを聞く姿を見て、みなさんとても感心していました。昔、飼っていたことを思い出された利用者さんもあり、癒しのひとときとなりました。

若草苑デイサービス

若草苑の大運動会

9月29日(月)から10月3日(金)までの1週間、若草苑秋の大運動会を開催しました。

利用者さん、職員ともに紅白に分かれ、玉入れ、パン食い競走など6種類の競技で競い合いました。1年に1度ということもあり、みなさん大はりきりでした。

自分のチームを優勝させるため、応援にも熱が入り、白熱した運動会となり、みなさん充実感に満ち溢れた表情をしておられました。



▲全部入るかな～!



▲お口でパンをくわえて!!



◀職員も頑張りました

東山デイサービス

秋の大運動会



▲「それいけ!」と大きな声が響いています



◀おいしいパンに、にっこり

10月5日(日)から13日(月)にかけて、秋の大運動会を開催しました。借り物競走、パン食い競走、玉入れ、大玉転がし、物送りゲームを日替わりで行い、赤組、白組に分かれ白熱した戦いとなりました。みなさんが競技をしている表情は真剣そのもの。「頑張れー!」と大きな声がフロアに響き渡っていました。たくさん体を動かし、声を出したあとは、パン食い競走で取ったパンをみなさんおいしそうに食べておられました。

第2とよた苑

浄水小学校

交流の一環として生徒さんが来苑され、利用者さんの肩もみやりコーダー演奏などをして、利用者さんを楽しませてくれました。

たくさん思い出を届けてくれた生徒さんを、優しく見守っております。

梅坪台中学校

奉仕活動の一環として生徒さんが来苑されました。



♪どんどんきれいになっていきますね

られた利用者さんの姿がとても印象的でした。



▲微笑ましい姿ですね！

「よし、上着を脱いでやろう！」と気合を入れて、生徒さんが仲良く声をかけあつて掃除している姿はまさに若さそのもの。近くを通った利用者さんは、微笑ましく見守るといふより、躍動感ある生徒さんのその動きに圧倒されていました。苑内はピカピカになり、利用者さんは気持ち良さそうにしてもらいました。

豊田養護学校(中学部)

交流の一環として生徒さんが来苑され、合唱発表やゲームを通して利用者さんと交流をはか

デイサービス

秋の紅葉

季節に合わせた様々な作品作りを行っています。秋は紅葉のシーズンということで、秋の紅葉の絵を作っていたいただきました。

赤に黄色、茶色に緑といった様々な色をつけていただき、絵



▶秋を感じさせますね

りました。

利用者さんは、合唱発表の際には、生徒さんに負けじと大きな声で歌われ、風船ラリーでは元気いっぱい盛り上がり、楽しい充実した一日を過ごしておられました。

の下には言葉もそえて、色とりどりの絵が完成しました。冬の季節は何を作るか楽しみにしていただきたいね。

居宅介護支援事業所

ケアマネジャーとしてできることは何か

認知型デイサービスセンターを利用されているKさん。利用日が分ならず、家の前で送迎車を待たれることがたびたびあります。

最初の頃は、「デイサービスなんて行きたくない。」と言われていたKさんですが、何度か通ううちにデイサービスへ行くことが楽しみになっていきました。しかし、2年経過し、やっと慣れてきたところで、息子さんの転勤話がでており、豊田の地を離れるか、施設に入所するか、現在、選択をせまられています。Kさんは不安な表情をさらしています。

ケアマネジャーとして、Kさんの不安が少しでも解消できるよう、ご家族とKさんにとって一番良い方法を考えていきます。

保見の里

買い物楽しみました

9月25日(木)、地元の商品店「近藤商店」さんに来ていただき、洋服販売を行いました。

地域交流スペースにたくさん洋服を並べ、利用者さんは目をきらきら輝かせながら、楽しそうに洋服を選んでいました。特に女性利用者さんは、「この服かわいいわね。」「これはちょっとと味かしら。」など、終始笑顔で、まるでショッピングセンターに来たかのように楽しんでおられました。

利用者さんにたいへん好評でしたので、次回もまた開催します。楽しみにしててくださいね。



▲どれにしようかしら？

▲たくさんあつて迷っちゃいますよね！

障害者支援施設
サンホーム豊田

夏の終わりにBBQ



9月23日(火)、サファイヤ作業班のみなさんで、常滑市にある「りんくうビーチ」に行

ポランティアさんと交流したよ☆



▲みなさん、腹話術にびっくり!

9月20日(土)、「アイシン精機課長会」「マシユマローズ」の方々の交流会を行いました。



パネルシアターや腹話術を見せていただいたり、大いに盛り上がりま

ってきました。

台風の影響で天候が心配されましたが、晴天に恵まれ、最高のバーベキューパーティーとなりました。りんくうビーチに到着後、食材の買い出しに出かけ、いよいよバーベキューパーティーのスタートです。

好きな食材を焼き、たくさん食べて利用者さんは大満足。食後にはスイカ割りで盛り上がりました。普段なかなか行くことができない浜辺でのバーベキュー。夏の終わりを存分に楽しんだ一日となりました。

9月27日(土)は、「トヨタSX会」の方々と交流外出がありました。

鞍ヶ池公園にバスで一緒に行き、園内を散策したり、ゲームをしたりして楽しみました。ゲームの景品でいただいたちわと色ペンを使い、オリジナルのうちわを作り、大満足の利用者さんたちでした。



▲天気も良く、みなさん気持ち良さそうです

生活介護事業

秋深き…芸術の秋!

秋が深まり、絵画や習字などの制作活動に力を入れていきます。

中秋の名月に合わせ、大きな満月とうさぎの絵を描いたり、習字で松尾芭蕉の俳句を書いたりしています。墨汁を付けたボクシンググローブに、紙にパンチをして絵を描く「ボクシング・ペインティング」にも挑戦し、それぞれに芸術の秋を楽しんでいます。



▲どんな作品に仕上がったのかな?

11月の行事予定

- 11月9日(日) 福祉健康フェスティバル
- 11月16日(日) 豊田マラソン

大府の郷

ぶどう狩り

昨年同様、今年もたくさんぶどうの寄贈が地元ぶどう園よりあり、9月18日(木)、利用者さんにぶどう狩りに行った



◀いただきま〜す!

▲これがおいしそうな?

気分を味わっていただくこと、ネットにぶどうをぶら下げて、食べていただきました。

ぶら下がったぶどうをいろいろな角度から、どれがおいしいか吟味されている利用者さん。いれば、ぶどうを探りながら、「自分でとったぶどうは特別においしい。」「昔は子どもや孫を連れて、ぶどう狩りによく行っていたわ。」と話をされる利用者さんもおられ、とても楽しい雰囲気でした。

「大府はぶどうが有名だから、やっぱりおいしいね。」と、満面の笑みを浮かべながら食べている姿がとても印象的でした。

デイサービス

しっとり甘いスイーツポテト!

9月のデイ喫茶は、スイーツポテト。利用者さんから自宅で作られたさつまいもをいただきました。



▲おいしくいただいています◎

き、スイーツポテトを作りました。ふかして潰したさつまいもに卵黄と生クリームを混ぜて形を整え、つやだしに卵黄を塗って、焼き上げました。焼き上がりは焦げ目がいい感じにつき、しっとり甘いスイーツポテトが完成しました。利用者さんは口の中に入れた瞬間「おいしいね!」と、笑顔でした。

支えていただいた方々

9月16日～10月15日(敬称略 順不同)

春日井グループ

春緑苑

特養

寄付金

前並米穀店 山本浦子・古川晃 波多野利治・立岡 紀子 武内寛代子 塚田美智子 梅村和正

寄付物品

松本きぬ子 御領園澄江・初山きん 山田久子 浅野よし 牧野信枝 林恒子 中島操 長谷川美津子 松本節子 平川トミ子 三宅富郎 寺島トシコ 柴和子 鈴木清子 土屋千鶴

ボランティア

【森の会】嶋田幸子 安藤ゆう 熊澤ハジメ 粟田由美子 見田優子 日比野恵美子 金山規久 西山啓子 松岡加代子 畔柳邦子 山田美智子 尾嶋文子 上藤聖子 【福寿草】上野豊子 山田みどり 村島よしみ 池水豊子

ボランティア

【もの会】近藤登美子 赤坂千秋 ヴ谷君子 【あじさいの会】柴田まち子 佐々木偉久子 岡本徒未子 【ネオホリスの会】伊佐次雅子 難波郁子 【ちひろの会】飯下阿古 松尾澄代 松田ミドリ 辻千草

ボランティア

【個人】吉川晃 山本浦子 中島静子 木村隆明 小川昇 田村早苗 【DIYサービス】原定実 笹川敏春 土屋千枝子 三宅富郎 安藤ヨシエ 桑原未子

ボランティア

清水佐紀子 金崎民子 イナ美容室 永田千恵子 重田カズ子 林春代 声田迪子 岡田優子 白根俊男 古川良彦 山田咲子 林守村 村上美恵子 川村廣枝 野田有美子 市村丈夫 市村ケイ子 山田祐梨子 小林照子 池田ふじ子 赤木宏治 平松秀一 林茂樹 三尾英幸 浅井啓子 中根英子 亀井光代 竹島住恵 大崎悦子 西口昭雄 斎藤三夫 幸の会 ハビネスの会 つくしの会 インターアクトクラブ 陽なたの会 豊愛会 田中満知子 花の詩

ボランティア

八幡賢雄 原田秋光 天野直子 【ボランティア】春日井仲間女 高橋紀子 石黒光子 梶田直子 追田静恵 石垣まさみ 森邦子 大石三恵子 石垣隆由 森田浩子 【3日会】中間邦子 伊藤千枝子 彦坂正子 長江澄子 市原ますみ 山本繁子

ボランティア

【六かみな会】衛藤美津子 酒井キウエ 佐野敦人 松森貴美子 佐野陽子 【タンポポの会】籠橋宗子 武弘子 小木曾圭子 坂三和子 田中朋子 浜本幸子 矢吹匡子 森崎靖子 辻丸昭江 波多野悦子 【氣功太極拳】林守畔柳邦子 【ひなたぼっこ】芦田迪子 岡田優子 【個人】野呂寛男 【ケアハウス】

味美DIYサービセンター

寄付物品

長屋勝 脇田榮利子 閉基同好会 佐久間 柳サークル たかみな会 いちよの会 オジイサンズ くるみの会 日本訪問園科 協会 末日聖徒イエスキリスト教会 谷口京子

春日苑

寄付物品

矢野文隆 小島金文 金村聖哲 大野和人 中京大 学 鈴木晃司 瀧下利美 【森の会】嶋田幸子 安藤ゆう 佐々木偉久子 熊澤ハジメ 【個人】小林純子 林邦代 森佳代子 棚田三三子 北村登代子 梅村半醒 春日井いきいき体操 北村登代子 鈴木まさ枝

ボランティア

立山哲男 風間公二 西村晃 【個人】小林純子 林邦代 森佳代子 棚田三三子 北村登代子 梅村半醒 春日井いきいき体操 北村登代子 鈴木まさ枝

ワーカー鷹来

ボランティア

清水泉希 安藤和博 【森の会】嶋田幸子 安藤ゆう 佐々木偉久子 熊澤ハジメ 【個人】小林純子 林邦代 森佳代子 棚田三三子 北村登代子 梅村半醒 春日井いきいき体操 北村登代子 鈴木まさ枝

ボランティア

高橋とよた 浅田幸子 小田古富士 杉田保子 三宅鈴江 丹羽下江 須藤信子 成田ハナコ 橋村富美子 三井けさ 掛橋徳香 千駄てる 丹羽和司 青山年子 鈴木信子 榎原朝子 木場トシ 加藤テル子 吉田カズエ 磯員鏡 郎

ボランティア

鈴木富和 シスター木全 鈴木登志子 橋本礼子 恩澤知子 今井嘉枝 倉知葉舟 鳥袋牧子 碧園お茶の純平

ボランティア

野のいなもちくんの花 日本字でがみ協会 やき ショウワ サウナス 菅沼善昌 大石誠二 元山茂山 内逸馬 豊田保見 マジッククラブ

ボランティア

川本富子 樋口氏恵 板倉秋江 光武サヨ 亀井アサエ 塚本よき 加納ちさえ 長深田文字子 中村誠 那須源吉 平池美代子 浦野ユキ子 長坂ます江 高谷雪生 野町幸恵

東山DIYサービセンター

寄付物品

倉知葉舟 山本慶子 白百合会 奏銭太鼓 ハンドル 愛音 【ケアハウス】 大内子エ子 岩月信 稲垣甲 綾野三枝子 白山マリ子 安田カズ子 澤田智世 三宅庸晴 三宅京子 赤松美代子 河田幸夫 碧園 山内純平 商店 国武勝記 原浩子 榎原隆子 北川天津子 中嶋孝司 川上佳代子

春日苑

寄付物品

島袋牧子 田中哲則 木下浩美 菊香旭寿 平松三陽子 小林美智子 白岩英秋 今井嘉枝 落合ひろ恵 増田訓子 瑞鳳流(代表 瑞鳳澄依) 5名 フラダンス代表 田中由利子 12名

ボランティア

小川緑生 ショウワ サウナス 藤井樹 本間一郎 高橋ハローニカ フラダンスの花 腹話術にっこり音楽会 ぶくろつ会 ルーチェ けやき ボンダンス

ボランティア

高橋とよた 浅田幸子 小田古富士 杉田保子 三宅鈴江 丹羽下江 須藤信子 成田ハナコ 橋村富美子 三井けさ 掛橋徳香 千駄てる 丹羽和司 青山年子 鈴木信子 榎原朝子 木場トシ 加藤テル子 吉田カズエ 磯員鏡 郎

ボランティア

鈴木富和 シスター木全 鈴木登志子 橋本礼子 恩澤知子 今井嘉枝 倉知葉舟 鳥袋牧子 碧園お茶の純平

ボランティア

野のいなもちくんの花 日本字でがみ協会 やき ショウワ サウナス 菅沼善昌 大石誠二 元山茂山 内逸馬 豊田保見 マジッククラブ

ボランティア

川本富子 樋口氏恵 板倉秋江 光武サヨ 亀井アサエ 塚本よき 加納ちさえ 長深田文字子 中村誠 那須源吉 平池美代子 浦野ユキ子 長坂ます江 高谷雪生 野町幸恵

ボランティア

田中登茂子 深見かねよ 大家ます 磯村秀子 元木峰子 西川信子 河合きよ

若草苑

寄付物品

鈴木登志子 江崎昌子 ショウワ サウナス 中川保険 放佛殿(杉浦彰彦) 渡邊康綱 ホイス カウト 豊田 34 回

春日苑

寄付物品

麦の会 梅坪台 中学校 3年生 オカリナ ナふるま と 中京大生 2名 KSV さんか 【DIYサービス】 深見芳江 パートII 加納カズコ 森鐘

ボランティア

大道芸人 ゆう 野の花 銭太鼓 いきいき会 パート II ショウワ サウナス ははたけ 天翔 マンドリン

ボランティア

みずほ大学 那須善宏 トヨタ S X 会 中島白百代 谷山博 小島さなえ 深津ちえ子 トヨタ S X 会 (22名) 伊東敏子

ボランティア

鈴木富和 シスター木全 鈴木登志子 橋本礼子 恩澤知子 今井嘉枝 倉知葉舟 鳥袋牧子 碧園お茶の純平

ボランティア

野のいなもちくんの花 日本字でがみ協会 やき ショウワ サウナス 菅沼善昌 大石誠二 元山茂山 内逸馬 豊田保見 マジッククラブ

ボランティア

川本富子 樋口氏恵 板倉秋江 光武サヨ 亀井アサエ 塚本よき 加納ちさえ 長深田文字子 中村誠 那須源吉 平池美代子 浦野ユキ子 長坂ます江 高谷雪生 野町幸恵

ボランティア

田中登茂子 深見かねよ 大家ます 磯村秀子 元木峰子 西川信子 河合きよ

海外研修
レポート

平成26年度 海外研修 高齢福祉 オーストラリア・ニュージーランド

特別養護老人ホーム春緑苑 介護職員 課長 粕谷 泰浩

8月30日(土)から9月11日(木)までの13日間、オーストラリア・ニュージーランドの高齢者福祉関係施設を視察しました。その概要を報告します。

両国共に国の高齢者政策として在宅介護を基本としている所は日本と同じですが、その政策がより具体的に進められており、サービスにおいても多様化され、高齢者の思いや希望が政策に強く反映されています。

「自分の人生は自分で決める」という思いが国民性に根強くあり、サービスを利用するにしても、施設に入居するにしても自己の決定が尊重され、利用者も第2の人生を楽しんでいるように感じられました。

施設環境も在宅生活を意識した作りのものが多く、居室の窓からは、自然と緑を取り入れられる環境が作られ、馬が見える施設もありました。



▲クラブ活動を楽しませてもらった利用者さん



▲施設の窓から見える景色

また、利用者が楽しく暮らせるためには、介護する職員の心身も健康である必要があるとの考えから「ノーリフトポリシー」の推進が根付いているのも特徴でした。

スキルアップのシステムが国で構築されていたり、教育やトレーニングを行うプログラムが施設で実行され、職員自身の自己研鑽をサポートする体制がしっかりと確立されており、どの職種の方も自分の仕事に対し、専門性と誇りを持って、楽しんで働いている姿が印象的でした。

※ノーリフトポリシー オーストラリア

リアアの看護連盟が看護師の腰痛予防のために提言したもので、持ち上げたり運んだりといった介護者に負担の大きい作業を人の力だけで行うことを禁止し、介護機器使用による移乗介護を義務付けた。

Q & A

1. 一番印象に残った施設は？

施設名…リー プレイス リタイアメント ハウジング

理由…普通の住宅街の一角に介護施設があり、建物の外観も一般住宅と同じ作りで全く施設と感じさせなかった。1棟は認知症対応型のため電子錠はついていて、他の5棟は入居者の出入りが自由で、通常のライフスタイルと変わらないことに驚いた。

家庭的なスタイルを目指しているため、スタッフの制服や、施設内の目印(さまざまな表示、施設名)などの排除が徹底されていた。

2. 日本の福祉との違いは？

両国共に65歳になれば年金が貰える仕組みがあり、税金ですべて賄われているため、全ての人が受け取れ、生活ができる安心感がありました。ただし、国が高齢者を支える代わりに、どのぐらいの資産があるのか、政府も情報を持っているようになっていました。

在宅介護を進めるために、日本よりもサービスが細かく、利用者権利が高く感じた。「ノーリフト



▲施設見学(リフト使用)

ポリシー」のもと、リフトの活用が徹底されていました。

3. 日本の施設との食事の違いは？

普通食、刻み食、ソフト食など利用者の状態に合わせたものが提供されており、食事については日本とあまり変わらない印象でした。しかし、明るさにこだわった食卓環境作りは、とても印象的でした。

4. 地域の伝統や風習の違いは？

国民性の違いはかなりあり、国民意識の中に、他人より裕福であれば他人に対しても恩恵を施す考え方や、ボランティア精神が根付いていること、寄付、募金に対する抵抗のなさなど、福祉に対する意識はかなり根付いており、福祉の社会的地位も高いところがありました。

5. 一番印象に残った観光地は？

場所…ワイトモグロウワーム洞窟(ニュージーランド)
理由…洞窟内の鍾乳石や床面から突き出している石筍が、驚くほど美しく壮大な自然の彫刻物を作り出し、また、その空間のなかで団



▲オーストラリア ブルーマウンテンで記念撮影(一番右:粕谷)

員と共に「ふるさと」を唄った時に反響した音が耳に残っています。また、暗闇の中でツチボタルが神秘的な光を放ち、満天の星空のように輝いている光景が、ふたに焼き付いています。

6. 今回の研修を踏まえ、今後、どう活かそうと考えていますか？

今回の研修を踏まえ、介護職員の心身を健康に保つための考え方は必要になってくるので、抱えない介護の推進を今後どのように進めていくかを考えていく必要があると感じました。

また、職員の教育体制やスキルアップのための後押し支援をしていく必要性、介護に対するプロ意識をしっかりと持ち、楽しみながら仕事ができる環境を作れるよう、学んだ知識を少しでも活かしていきたいと考えています。

全国から集まった同じ環境で働く団員の方と出会い、共に過ごし語りあえたことも大きな収穫となっており、今後の介護に役立てていきます。

海外研修
レポート

平成26年度海外研修 障がい福祉 アメリカ編

障がい者支援施設設置日苑 生活支援員 主任 中場 ゆりか

9月6日(土)から9月20日(土)までの15日間、アメリカの障がい者福祉関係施設を視察しました。その概要を報告します。

【ニューヨーク】

70年代前半から障がい者に対する考え方が施設から地域へとという考え方に変わりました。そのため大きい施設は少なく、集合住宅や家などのような少人数の施設が多くなりました。

障がい者に対する制度では、本人に対してだけでなく、介護している両親に対しても支給されるサービスなどもあり、地域生活が続けられるようになっていきました。低所得者に対しては、メディケイドにより連邦政府と州から補助が出るため実費はほとんどなく、住む環境やレクリエーションなども充実しており、利用者もいきいきと生活していました。

【シアトル】

障がい者に対する課題がいくつかあり、1つ目は、同じ趣味・目的の下に形



▶自宅のリビングのようを作り

成される集まりによる地域社会の多様化で、それに対応するだけの体制が求められていました。2つ目は所得の格差が非常に大きいことです。3つ目は医療改革で気軽にケアを受けられる法律ができたため、精神・社会・保険面で提供方法を変える必要があるなど様々な課題に直面していました。

利用者に対しての取り組みとしては、意思疎通ができない重度の利用者に対しての取り組みやストレスを取り除くためのリラククスできる環境作りなど、信頼関係を築くことに力を入れており、利用者のことを第一に考えています。

※メディケイドは民間の医療保険に加入できない低所得者・身体障がい者に対して用意された公的医療制度

Q & A

1. 一番印象に残った施設は?

施設名…ブルックリン・テイ・リハビリテーション・ウィズアウト・ウォールズ

理由…数多くのプログラムの中



▲アートスペース

で、陶芸や美術のプロの講師が指導するプログラムもあり、それぞれの作品の完成度が非常に高く、利用者の関心度、モチベーションが高くなるように工夫されています。

利用者や職員がリラククスできる部屋が設けられており、安らかな環境の中で支援ができるようになっていました。

2. 日本の福祉との違いは?

アメリカではメディケイドという公的医療制度で、ほとんどの利用者の金銭面が賄われています。

最近では、施設から地域へという考え方が徹底され、集合住宅のように少人数で運営されており、家と同じような環境作りに努め、リラククスできるように個人の好きな家具配置、壁紙等選択できるようにしていました。

3. 日本の施設との食事の違いは?

施設での食事は、ベースト食を赤ちゃん用の離乳食で代用していました。利用者が調理の手伝いを

するところもあれば、気分転換も含め、利用者が自由に外食できるようにもなっているところもありました。

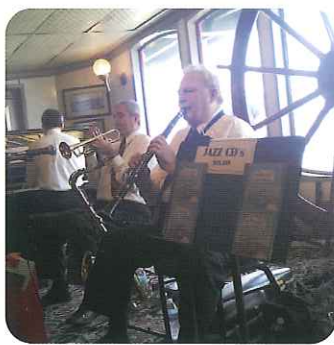
4. 地域の伝統や風習の違いは?

アメリカという国は州によって法律、ルール、税金が違いため、障がいに関する制度なども、その州によって違いがあることに驚きました。

5. 一番印象に残った観光地は?

場所…ニューオリンズ(ルイジアナ州南部にある都市)

理由…ニューオリンズはたくさん音楽や映画が誕生した町であり、音楽が町中にあふれ、陽気で親切な人が多く過こしやすいところだった。映画の撮影が行われることも多く、建物、景観ともにはらしいところで、観光地として一番印象に残りました。



▲クルーズジャズ

6. 今回の研修を踏まえ、今後、どう活かそうと考えていますか?

自由で開放的な雰囲気作り、家と同じような環境作りに努め、リラククスでき、個人のプライベート空間を作ってあげることが大切であると強く感じました。

視察した先の施設の職員が、「心がきれいだっただから出世した」と、笑いながら冗談交じりで話されていました。利用者さんや職員に接する姿はとても優しく見習う点が多くありました。私も同じように、どんな状況であろうと広い心を持って、利用者さんに接していきます。



▶記念撮影
(前列右から4番目中場)

編集後記

日を増すごとに肌寒さを感じ、山々の木々が色づいてきました。「秋」は適度な気温が保たれ暑すぎず、寒すぎずスポーツがしやすい季節です。今年も自信を持って「スポーツの秋」といえるように10キロマラソンに挑戦しようと考えております。ウォーキングや腹筋などマラソンに向けて体を動かしています。体は筋肉痛で悲鳴をあげています。しかし、こうした日々の運動がマラソンの完走と「健康」に繋がると信じ、日々頑張っています。みなさんも冬に備えて体を鍛えましょう!

この広報紙に掲載した個人情報、ご本人もしくはご家族の同意を得て掲載しています。